

## V 研究活動と研究環境

### 1 専任教員の教育・研究業績

(表24)

所属	共通科目	職名 教授	氏名 浅井 由美	大学院における研究指導担当 資格の有無 (無)
I 教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)				
1) 授業改善のための Minute Paper の実施		2020年～現在	講義科目の授業で、不定期、複数回、履修学生にMinute Paperの提出を求めた。その回の授業の要点、質問、授業に対する要望等に、次回の授業で対応するとともに、授業改善の参考にした。	
2) 新聞を使った授業の実施		2020年～現在	「演習」「女性と社会」「現代家族関係論」「子ども家庭支援論」などの授業で、新聞各紙を使って、プレゼンテーションやディスカッションを行った。	
3) 地域の調査をとりいれた授業の実施		2020年～現在	「子ども家庭支援論」「演習」などの授業で、学生が、地域の子育て支援にかかわる公共機関や商業施設を実際に訪れ、調査研究した結果を発表する機会をもった。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				

4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単 著・ 共著	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号 数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
家庭の支援と生活組織の再構築（3）	単著	2020年2月	神戸海星女子学院大学教育研究紀要（第3号）		1頁～5頁
家族回帰と「家庭」支援の視点	単著	2023年2月	神戸海星女子学院大学研究紀要（第61号）		1頁～5頁
超高齢社会の生活時間と時間意識	単著	2025年2月	神戸海星女子学院大学研究紀要（第63号）		1頁～5頁